

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】令和 2 年 10 月 8 日 (2020.10.8)

【公表番号】特表 2019-529417 (P2019-529417A)

【公表日】令和 1 年 10 月 17 日 (2019.10.17)

【年通号数】公開・登録公報 2019-042

【出願番号】特願 2019-514742 (P2019-514742)

【国際特許分類】

A 6 1 K 39/12 (2006.01)

A 6 1 P 13/00 (2006.01)

A 6 1 P 15/00 (2006.01)

A 6 1 P 1/02 (2006.01)

A 6 1 P 35/00 (2006.01)

C 1 2 N 5/0783 (2010.01)

【F I】

A 6 1 K 39/12

A 6 1 P 13/00

A 6 1 P 15/00

A 6 1 P 1/02

A 6 1 P 35/00

C 1 2 N 5/0783

【手続補正書】

【提出日】令和 2 年 8 月 24 日 (2020.8.24)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

T 細胞を刺激するための方法であって、インターロイキン (I L) - 7 および I L - 15 の存在下、I L - 6 および I L - 12 の非存在下で、T 細胞を抗原提示細胞で刺激する工程を含み、該抗原提示細胞は、これまでに 1 種またはそれより多くのペプチドに曝露されており、該ペプチドは、ヒトパピローマウイルス (H P V) の 1 つまたはそれより多くのタンパク質の配列の少なくとも一部に対応する配列を含む、上記方法。

【請求項 2】

前記 T 細胞が、先行の T 細胞の刺激から、任意選択で P B M C の集団中から得られる、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 3】

前記先行の T 細胞の刺激が、I L - 7 および I L - 15 の存在下、I L - 6 および／または I L - 12 の存在下で、T 細胞を抗原提示細胞で刺激する工程であって、該抗原提示細胞は、これまでに 1 種またはそれより多くのペプチドに曝露されており、該ペプチドは、H P V の 1 つまたはそれより多くのタンパク質の配列の少なくとも一部に対応する配列を含む、工程を含む、請求項 2 に記載の方法。

【請求項 4】

前記 T 細胞の刺激の前に、I L - 7 および I L - 15 の存在下、I L - 6 および／または I L - 12 の存在下で、T 細胞を抗原提示細胞で刺激して、末梢血 T 細胞を生産する工程であって、該抗原提示細胞は、これまでに 1 種またはそれより多くのペプチドに曝露さ

れており、該ペプチドは、H P Vの1つまたはそれより多くのタンパク質の配列の少なくとも一部に対応する配列を含む、工程をさらに含む、請求項1に記載の方法。

【請求項5】

前記抗原提示細胞が、樹状細胞、B-プラスト、またはP B M Cである、請求項1～4のいずれか一項に記載の方法。

【請求項6】

前記T細胞が、末梢血単核細胞（P B M C）の集団中に存在するか、またはそれから得られるかもしくは単離される、請求項1～5のいずれか一項に記載の方法。

【請求項7】

前記集団中の前記P B M Cが、非接着性のP B M Cである、請求項6に記載の方法。

【請求項8】

前記H P Vが、H P V 1 6またはH P V 1 8である、請求項1～7のいずれか一項に記載の方法。

【請求項9】

前記ペプチドが、E 1、E 2、E 3、E 4、E 5、E 6、E 7、L 1、およびL 2の1つまたはそれより多くに対応する配列を含む、請求項1～8のいずれか一項に記載の方法。

【請求項10】

前記H P V関連疾患が、がんであり、前記ペプチドが、E 6およびE 7の一方または両方に対応する配列を含む、請求項1～9のいずれか一項に記載の方法。

【請求項11】

前記ペプチドが、

a) H P V 1 8のE 6タンパク質および／もしくはH P V 1 8のE 7タンパク質、ならびに／または

b) H P V 1 6のE 6タンパク質および／もしくはH P V 1 6のE 7タンパク質
に対応する配列を含む、請求項1～10のいずれか一項に記載の方法。

【請求項12】

前記1種またはそれより多くのペプチドが、少なくとも、または最大で、8、9、10、11、12、13、14、15、16、17、18、19、または20個のアミノ酸長さを有するペプチドを含む、請求項1～11のいずれか一項に記載の方法。

【請求項13】

前記1種またはそれより多くのペプチドが、15個のアミノ酸長さを有するペプチドを含む、請求項1～12のいずれか一項に記載の方法。

【請求項14】

1種またはそれより多くのペプチドが、ライブラリーを形成し、該ライブラリー中のペプチドが、配列において、他のペプチドと11個のアミノ酸がオーバーラップする、請求項1～13のいずれか一項に記載の方法。

【請求項15】

H P V関連疾患を治療する方法に使用するための医薬品の製造におけるT細胞の使用であって、該T細胞は、請求項1～14のいずれか一項に記載のT細胞を刺激するための方法により得られるか、それにより入手できるか、またはその生成物である、上記使用。

【請求項16】

前記H P V関連疾患が、がんである、請求項15に記載の使用。

【請求項17】

前記がんが、子宮頸がん、肛門がん、外陰がん、膣がん、陰茎がん、口腔咽頭がん、上咽頭癌、喉頭乳頭腫症、喉頭がん、頭頸部がん、またはそれらの部位のいずれかの異形成である、請求項16に記載の使用。